

中学生の 国語 ガイドダンス

これからの中学生に求められる言語能力が、確実に身につく教科書
日本の伝統的な言語文化に根ざした、豊かな言語感覚を養う教科書



三省堂



『中学生の国語』ガイドダンス

もくじ

『中学生の国語』刊行にあたって

04

『中学生の国語』3つの柱

05

『中学生の国語』の全体構成

06

■言語能力をつける

言語能力育成単元

08

学習の見通しと振り返り

10

——「話すこと・聞くこと」を例に

学習の手引き・読書へのいざない

12

——「読むこと」を例に

学習の系列化と教材

14

——「書くこと」を例に

新しい形の漢字学習

16

言語技術(スキル)の習得

18

——「確かめよう」



表紙のテーマ

- 1年 木(成長)
- 2年 水(可能性)
- 3年 空(希望)

■ 学びの楽しさを広げる

別冊・資料編「学びを広げる」

— 言語文化編

— 情報活用編・事典編

22 20

■ 伝統的な言語文化を大切にする

ふれる・楽しむ・親しむ「古典」

— 学年のはじめに

24

味わう「古典」

— 領域との関連学習

26

「読むこと」教材一覧「本編」

28

だれもが使いやすい教科書づくりをめざして

29

サポート・ネットワーク・プログラム(SNP)

30

指導用デジタルテキスト・編集委員一覧

31

はさみこみリーフレット

・全学年目次一覧／年間学習指導計画

・平成24年度版『中学生の国語』検討の観点と内容の特色

編集理念—「ことば・こころ・いのち」—にこめた願い



「ことば」で自己を見つめる, 「ことば」で世界を認識する。それは, 自己の確立をうながし, 自身を大切にする「こころ」を育てると同時に, 他者を認識し, 尊重する態度を育てることでもあります。言葉の力の充実は, 生きる力に結びつき, 一人一人の「いのち」を大切にする生き方を保証することとなります。

わたしたちは, 子どもたちの人間形成に資するために, 「ことば・こころ・いのち」を以上のような関係でとらえ, 基本理念といたしました。

言語能力は、教材の内と外、教室の内と外、学校の内と外にあつて、生きてはたらくものでなくてはなりません。これからの国語教科書は、それらの内と外をつなぎ、言語能力を自ら育むことのできるすぐれた教材であり装置であることが期待されます。そのために、本教科書は、『中学生の国語』と『中学生の国語 学びを広げる』の二冊の造りになっています。

『中学生の国語』は、「本編」と「確かめよう」からなる一冊、『中学生の国語 学びを広げる』は、「資料編」としての一冊です。

『中学生の国語』の「本編」は、国語科の目標から導かれる言語能力の諸要素を指標とする単元構成をとっています。言語能力の諸要素とは、国語を表現する能力（表現力）、理解する能力（理解力）、伝え合う力、思考力、想像力、言語感覚、国語に対する認識（伝統的な言語文化を含む）と国語を尊重する態度などです。

これらの要素は、構造的、有機的につながり合っています。したがって、例えば単元構成の「表現力」は指標であつて、学習指導は他の要素と緊密に関連しながら展開するものとなります。表現力と理解力の関連、論理的思考力と感性的想像力の関連などは、学習指導

『中学生の国語』刊行にあたって

●編集委員会代表 中渕正堯

よつて学習者が自覚すべき不変の実践的課題です。新しい指向として、生徒をとりまく言語文化のうち歴史的なものが小学校から「伝統的な言語文化」として取り立てられました。この事項にもとづく小学校での言語活動を、本教科書では中学校入門期に引き継ぎ、その後の日本語による豊かな言語文化の学びに資するようにしました。

『中学生の国語』の「確かめよう」は、学習指導要領の内容（指導事項）を基礎・基本と捉え、自学しやすく構成したもので、「本編」の学習指導を補完します。同時に、学習を教材、教室、学校の外へと開き、メタ認知する役割をはたします。

『中学生の国語 学びを広げる』は、「資料編」として、国語科での学びを広げるとともに、他教科や日常生活に開かれた学びに資するものです。教材、教室、学校の内と外をつなぐ媒材、装置（読書の関係など）のスケールは大きくなります。ここにおいて、言語能力の生活化・社会化はいっそう進められます。

『中学生の国語』の「本編」と「確かめよう」「学びを広げる」とを相関させる言語活動によつて、一人でも多くの中学生の言語能力が伸長することを願っています。

『中学生の国語』3つの柱

次の3つのことを編集方針の中心におきました。

P.8

言語能力をつける

- 本冊の「本編」では、授業での共同の学習・共通の学習内容を系統的に示し、基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着とその活用を目指します。
- 本冊の「確かめよう」では、身につけたい言語技能を各領域ごとに分け、学習指導要領の指導事項に即して、整理し、まとめています。

P.20

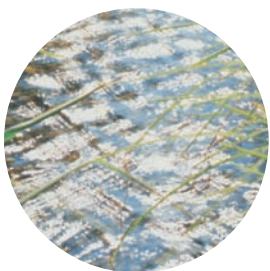
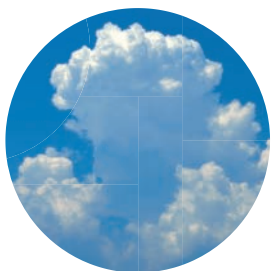
学びの楽しさを広げる

- 別冊・資料編の「学びを広げる」では、国語科と他教科、あるいは生徒たちの日常の言語生活や社会生活との連携を図り、国語科の学習で培った言葉の力が生きて働くように工夫しました。

P.24

伝統的な言語文化を大切にす

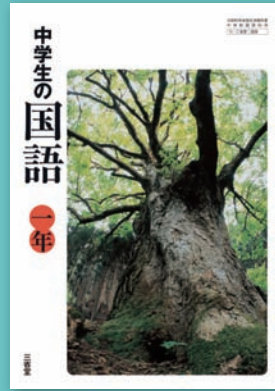
- 長く受け継がれてきた作品を積極的に取り入れ、これらに親しませる学習活動を通して、我が国の言語文化を継承し、新たな文化の創造への意欲が育つように配慮しました。



『中学生の国語』の全体構成

基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力の育成、学ぶ意欲の「層」の向上のために、「本冊」「別冊・資料編」の二分冊構成としています。

本冊



●国語の授業の場で使用し、言葉の力をつけるための教科書です。

本編

●「本編」には「指導事項」を全ておさえた「必修」教材が入っています。知識・技能の習得とその活用を繰り返しながら、言語能力を確実に身につけます。

水田のしくみを探る

確かめよう

●国語科で身につけたい言語技能を、領域ごとに整理してまとめました。
●授業のはじめやおわりに、「確かめる」ことで学習の定着を図ります。

1年間並行使用

別冊



●学習した知識・技能を整理し、主体的な学習活動を充実させるための教科書(資料編)です。

資料編 学びを広げる

●言葉の資料集です。言葉の世界をさらに広げることができます。
●各教科の学習や生活のさまざまな場面で活用できます。

言語文化編



相互交流による 学び合いを大切に

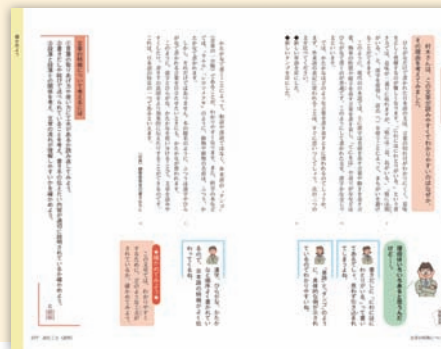


一年本編「水田のしくみを探る」

授業の
おわりに



授業の
はじめに



一年確めよう「文章の特徴について考えるには」

情報 活用編

事典編

- ・「常用漢字活用字典」
- ・「学習用語事典」
- ・「文法事典」ほか

表とグラフによる表示

表やグラフを使って数値の情報を提示することで、数値の量や変化などわかりやすくなります。

数値を見やすく表す 縦横両方を見やすく、数値を見やすくします。

年	総人口	小学生	中学生
2005	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2006	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2007	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2008	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2009	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2010	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2011	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2012	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2013	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2014	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2015	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2016	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2017	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2018	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2019	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2020	12,294,002	8,083,002	8,083,002
2021	12,294,002	8,083,002	8,083,002

量を見やすく表す 棒グラフで、数値の量も、棒の長さで視覚的に見てわかるようになります。

量の変化を見やすく表す 折れ線グラフに注目すれば、数値の増減が一目でわかります。

比率や割合を示したいときは

円グラフ、棒グラフ

一年資料編「表とグラフによる表示」

言葉の図鑑

京都・奈良紀行

言葉の図鑑は、言葉の由来や意味、使い方などをわかりやすく紹介しています。

京都・奈良紀行

言葉の図鑑

一年資料編「言葉の図鑑 京都・奈良紀行」

言語能力育成単元

●言語能力の育成を目指し、「本編」は複数の教材による単元構成としました。
●学習指導要領の国語科の目標にある「伝統的な言語文化」「表現力」「理解力」「伝え合う力」「思考力」「想像力」「言語感覚」を7つの身につけたい言葉の力と捉え、単元名としています。

伝統的な
言語文化

表現力

理解力

学習指導要領
「国語」科 教科目標から

伝え合う力

7つの身につけたい
言語能力

思考力

想像力

言語感覚

「国語」科 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

(伝統的な言語文化)

思考力1 (論理的に考える)

学習目標

学習目標

学習目標

学習目標

言葉のレッスン

漢字を身につけよう

中学校で学ぶ漢字

漢字

漢字を使いこなそう

小学校で学んだ漢字

文法

単語の類別・品詞

信頼をつなぐ 小関智弘

読むこと(説明的な文章)

書くこと

学校案内リーフレットをつくろう

本編(必修)

確かめよう

学びを広げる

リンク

リンク

読む

文章の内容を
まとめるには(解釈)

書く

書いた文章を
見直すには(推敲)

- 「常用漢字活用
字典」

- 「玄関扉」
- 「説明の具体化」

- 「説明の具体化」
- 「視覚にうったえる編集」

学習の見通しと振り返り

「話すこと・聞くこと」を例に

●教材の前にリード文の形で学習目標(課題)を、教材の後に「振り返る」を計画的に組み入れました。
見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返ることによって自分の学習を診断・評価ができるように構成しています。



課題をもって話そう・聞こう

●社会生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して資料をつくる。
目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話す。

権
254
260

プレゼンテーションをしよう

自分たちが調べたことをわかりやすく報告するには、どのような点に気をつければよいでしょうか。
聞き手に効果的に伝えるには、話し方を工夫するだけでなく、資料となる図表を工夫したり、機器を使って資料を示したりすることも大切です。
情報の整理や発表の仕方、話の組み立て方などを工夫して、プレゼンテーションをしましょう。



振り返る

5 プレゼンテーションをする

4 リハーサルする

3 効果的な伝え方を考える

2 資料を集める

1 計画を立てる

プレゼンテーションをしよう 30

2年 本編「プレゼンテーションをしよう」

単元扉

●各単元の目標と関連した課題(小さな問い)を設定しました。
●楽しみながら考えることから学習を始めます。



本冊「確かめよう」への関連ページを
リンク・マークで示しています。

	スピーチ系	話し合い系	聞くこと系
1年	スピーチをしよう	討論ゲームをしよう	正確に聞き取ろう
2年	プレゼンテーションをしよう	パネルディスカッションをしよう	論理を追って聞こう
3年	パブリックスピーチをしよう	「企画会議」を開こう	対話劇を体験しよう

●「話すこと・聞くこと」の教材と系列

教材のはじめに学習目標を示すことで、見通しをもった学習への取り組みを促します。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では学習の流れをわかりやすくフローチャートで示しています。

「書くこと」によって振り返ります。

学習活動の様子は、具体的な写真で、イメージをつかめるようにしています。

別冊・資料編「学びを広げる」の関連ページをリンク・マークで示しています。

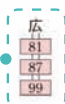
2年 本編「プレゼンテーションをしよう」

振り返る

この学習をとおして考えたことや身についたことを、次の点にそって振り返り、書いてまとめておこう。

- 社会生活の中から話題を決められたか。
- 集めた材料を整理して資料を作れたか。
- その場に応じて、資料や機器などを効果的に活用できたか。

- 5** プレゼンテーションをする
- 声の出し方や表情、身振り手振りなどを工夫して、効果的なプレゼンテーションに取り組んでみましょう。
- 目的にそった資料の集め方ができたか。
 - わかりやすい発表資料が作成できたか。
 - 表情や身振り手振りなどを用いて、効果的に話すことができたか。



35 的確に表す

学習の手引き・読書へのいざない

——「読むこと」を例に

●「本編」の「読むこと」教材の学習の手引きは、3ステップで、言語能力の確かな定着を図ります。
 ●学習したことが自然に読書生活に結びつくように「本編」の「読むこと」の教材の後には、関連する本を紹介しています。

学習のはじめには、一人一人が「考える」時間をつくりました。

学びの道しるべ

ひとりて学ぶ

良平が体験したことを、時間の順序にしたがって、表にしてまとめよう。

みんなて学ぶ

- 次の場面での良平の気持ちを話し合おう。
 - ① 工事場でトロッコを見ているとき。
 - ② ある夕方。
 - ③ そのち十日余りたってから。
 - ④ 工場へ出てきてから
 - ・ 二軒めの茶店／家の門口
 - ・ 家に戻ってから（179ページ6行めから）
 - ④ 東京へ出てきてから
- 情景の描写が、どのような効果をあげているか、話し合おう。
- 作品に表れた作者の考え方について、話し合おう。

学びを振り返る

「そのときの彼を思い出すことがある」（179ページ14行め）のはどんなときだと思っか。書いてまとめよう。

広
36

トロッコ 180

一年 本編「トロッコ」

「書く」行為を通して、一人一人の認識を定着させます。

重点化した学習目標にもっとも対応した学習活動を設定しました。集団での学び合いによって、学習効果を高めます。

「読むこと」教材の後ろには、「私の本棚」があります。各学年約40冊の本を紹介しています。難易度に幅をもたせた選定となっています。さらに、「学びを広げる」には各学年約50冊の本を紹介しています。

自分の読書記録を残すことができます。

わたし
ほんだな
私の本棚



獣の奏者
上橋菜穂子

医師の母をもつエリンは、母の死後、ジョウンに命を助けられる。やがてエリンは王獣に魅了され、獣の医学を学び始める。



夜のピクニック
恩田陸

みんなで夜歩くだけの学校行事。楽しみながらも、憂鬱なようでもある。高校生たちのそれぞれの思いを描く。



やったね、
ジュリアス君
クラウディア・リルズ
〔訳〕 はらるい

夏休み、ジュリアスに課せられたのは、フランス語をマスターすること、ペーシューターをすること。気は重くなるばかりだ。

書名	著者名



広
20

芥川 龍之介



（あくたがわりゆうのすけ）
一八九二（明治二五）年—
一九二七（昭和二）年
作家。東京都の生まれ。

『著書』
『蜘蛛の糸』
『河童』
『羅生門』
など



181 ささまざまな見方・考え方を知る

教材の作者・筆者に関連する本も表紙とあわせて紹介しました。

「読むこと」
教材の一覧
◀ P28

学習の系列化と教材

「書くこと」を例に

●学習指導要領の指導事項を踏まえて、学習の系統化・系列化を図りました。学習の基礎・基本が体系的に習得できます。教材には、日常生活・社会生活での課題を取り入れ、生きてはたらし、問題の解決に役立つ場の設定を充実させました。

三年

二年

一年

単元
「理解力」



詩の魅力を伝えよう

単元
「表現力」



「私の友情論」を書こう

単元
「理解力2」



見られる側の言い分

単元
「表現力2」




意見文を書こう

単元
「表現力1」



読書感想文を書こう

単元
「理解力2」



鑑賞文を書こう

単元
「表現力2」

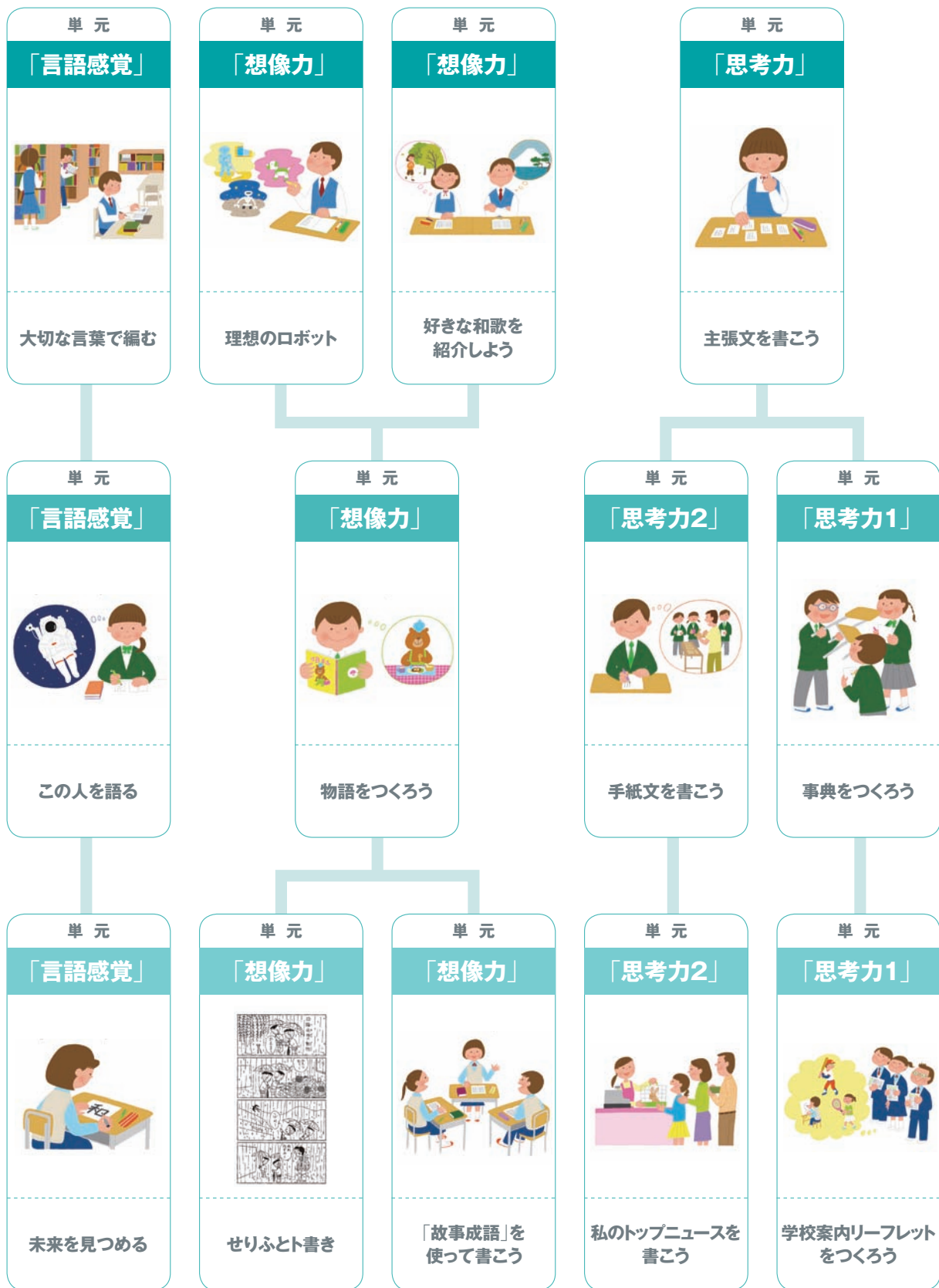


体験文を書こう

単元
「表現力1」



一枚レポートを書こう



新しい形の漢字学習

●小・中関連の漢字学習で、無理なく確実な定着と運用を実現します。
 ●生徒が一人でも繰り返し漢字学習ができるように、三省堂の辞書づくりのノウハウを生かし、本冊の巻末にはその学年で学習する「漢字字典」を、別冊・資料編「学びを広げる」には「常用漢字活用字典」を収録しています。

「漢字を使いこなそう」

各単元の末尾に定期的に教材を配し、
 復習と確認の機会を増やしました。

一年本編「漢字を使いこなそう」

漢

漢字を使いこなそう

小学校で学んだ漢字

1

1 線部のひらがなを漢字で書こう。
 文化に関係する言葉

- ①わかやはいくは、五音と七音の句によってできています。
- ②はいくのきこはきせつを表します。
- ③のうや狂言は、舞台でじょうえんされるこてんげいのうです。
- ④しんわやむかしばなし、みんななどは、人々の間にてんしょうされてきた口承ぶんげいです。

伝統的な四字熟語

- ①いつしんふらんに読書をする。
- ②予期せめてきごにうおうさおうする。
- ③かくしゆくよくよう、さまざまに取りそろえている。
- ④こうしこんどうをしてはいけない。
- ⑤じきゆうじそくの生活をする。



1

2 線部の漢字の新しい読みを学ぼう。

- ⑥じゆうじざいに人形を操る。
- ⑦しゆんかしゆうどうの変化を楽しむ。
- ⑧私の名前。
- ⑨電車が混む。
- ⑩私の名前。
- ①民の声を聞く。
- ②夏至の時期。
- ③話題に上せる。
- ④神社の神主。
- ⑤今昔の物語。
- ⑥用件を承る。
- ⑦気持ちや和らぐ。
- ⑧場の空気が和む。

「冬」の「点々」はなんの形？

広 20

「冬」は古くは「凵」と書きました。下に「冫」となっています。「凵」は「にすい」といい、水が凍ってできた氷の形をかなたっています。「氷」も元は「にすい」に「水」がついて「氷」と書かれていました。それが、今の字の形に定着したのです。「冷」は氷の

各単元の「身につけたい言葉の力」(例 伝統的な言語文化)と関連しています。漢字や熟語の意味に着目して、テーマごとに系統立てて学びます。

新しい常用漢字について

中学校配当の常用漢字は、新たに加わった196字も「漢字を身につけよう」に、音と訓を同時に学べる形で提出しています。

「漢字を身につけよう」

取り立て教材により「読むこと」教材の順序にとらわれずに、まとめて独立した漢字学習ができるように体系化しています。

漢字を身につけよう

中学校で学ぶ漢字

2

1 新しく学ぶ漢字に気をつけて読めるようになる。

伝統文化にかかわる言葉

- ① 日本で独自の発達をした音楽を邦楽という。
- ② 邦楽には、独特の旋律と楽器が印象に残る雅楽のほか、長唄や小唄などの三味線音楽、民謡などもふくまれる。
- ③ 邦楽では、琴や尺八、琵琶、和太鼓などの楽器が使われる。
- ④ 邦楽に合わせてさまざまな舞踊も行われている。
- ⑤ 床の間の掛け軸などに見られる水墨画には、微妙な味わいがある。
- ⑥ 錦絵というのは、木版で刷った多色刷りの浮世絵のことである。
- ⑦ 書道には楷書、行書、草書、隷書などの書体がある。
- ⑧ 近所に古い石碑が立っている。

230ペリ

2 線部の漢字に気をつけ、漢字の読みを広げよう。

- * 印は中学校で新しく学ぶ漢字です。
- * 印は中学校で新しく学ぶ読み方です。
- * 「2」は「1」で学んだ新しい漢字の別の音訓です。

漢字の
レッスン

- ① 木琴と鉄琴。
- ② ダンスを踊る。
- ③ 床をぞうきん掛けする。
- ④ 六時に起床する。
- ⑤ 墨をする。
- ⑥ 錦秋の候。
- ⑦ 優勝候補に浮上する。
- ⑧ 花びらを水に浮かべる。

□…形の似た漢字
楷書—俳諧

●…対義語
邦楽—洋楽

□…漢字の使い方
「唄」は長唄や小唄のような三味線に合わせる曲のときに使うことが多い。



広
110

209 言葉のレッスン（言語文化にふれる）

一年本編「漢字を身につけよう」

本冊巻末「一年生で学ぶ漢字字典」

唄	雅	旋	邦
うた	みやび	マユ	くにづくに
10画	13画	11画	7画
口 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄	隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹 隹	尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗 尗	邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦
唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄 唄	雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅	旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋 旋	邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦 邦

例題の解答などが示されているので、生徒が自学自習でも繰り返し学べます。

「言葉のレッスン」に位置づけられた中学校配当漢字は、テーマごとにとまとめられ、音と訓とを同一箇所ですべるように工夫しています。

言語技術（スキル）の習得

——「確かめよう」

●本冊『中学生の国語』には、新たに「確かめよう」を設けました。「本編」での学習を下支えする言語活動の場を具体的に示しました。
 ●「学習のはじめ」に、または「学習のまとめ」に確かめることで、言語能力を確実に身につけます。

例 一年「書くこと」

11



書いた文章を見直すには

小林さんは、自分の書いた文章を見直すことが難しいと感じていました。

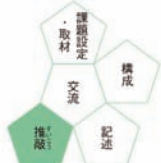
どんな点に注意して見直したらいいのかな？



まず、漢字や言葉遣いにまちがいが
ないか、チェックする必要がある
ね。

他にもっといい言葉がないかを考
えてみるのも大切だね。

主語と述語の関係や、文の続き方
段落の分け方についても、見直す
といいのでは。



書いた文章を見直すには 264

学習指導要領の指導事項に即して、領域ごとに整理しました。重点化・焦点化した学習活動を通して、言語スキルの着実な習得を可能にします。

「確かめよう」「目次（一年の場合）」

- 「話すこと・聞くこと」
- 1 話題を決めるには
 - 2 わかりやすく話すには
 - 3 伝わるように話すには
 - 4 聞き手を意識して話すには
 - 5 聞いた内容を確かめるには
 - 6 話題にそって話し合うには

- 「書くこと」
- 7 書く内容を決めるには
 - 8 書く材料を整理するには
 - 9 段落の役割を考えて構成するには
 - 10 根拠を明確にして書くには
 - 11 書いた文章を見直すには
 - 12 書いた文章を交流するには

- 「読むこと（説明）」
- 13 語句の意味を知るには
 - 14 中心となる内容を捉えるには
 - 15 事実と意見を読み分けるには
 - 16 文章の内容をまとめるには
 - 17 文章の特徴について考えるには
 - 18 必要とする情報を集めるには

- 「読むこと（文学）」
- 19 語句の意味やイメージをつかむには
 - 20 場面の展開を読み取るには
 - 21 人物の描写をとおして内容を読み取るには
 - 22 心情の変化を読み取るには
 - 23 ものの見方や考え方を広げるには
 - 24 情報を読み取り、理解を深めるには

私の夢は、世界の貧しい子どもたちを救いたい。そう考えた理由は、食べるものや水さえも満足になく、勉強ができないばかりか、小さいうちになくなってしまふ子どもたちが世界には多くいることを、テレビで知った。そのため今は、始めて会った人とも心が通じ合えるように、コミュニケーションの力を高めるために努力しています。例えば、いろいろな行事に積極的に参加し、協力して役目を果たしています。

小林さんが書いた文章

書いた文章を見直すには

- ① 表記や語句の使い方がまちがっていないか、確かめよう。
- ② 伝えたいことを読み手によりよく伝えるにはどうしたらよいか、考えよう。

確かめよう

★確かめてみよう★

上の文章の——の部分を書き直してみよう。また、二つの段落に分けてみよう。

広
3
13
197

265 書くこと

振り返り

見開き2ページ単位で、わかりやすい構成です。一つ一つの教材を繰り返して学ぶことを想定しています。

学びの楽しさを広げる

別冊・資料編『学びを広げる』

情報活用編・事典編

- 「情報活用編」では、言葉に関する情報の収集・整理・要約・発信など広範囲にわたる情報活用力の力を取り上げました。
- 「事典編」では、言葉に関するさまざまな知識をわかりやすくまとめました。

「情報活用編」

- 国語学習にとどまらず、日常生活・社会生活に生きてはたらく、活用ができる情報活用能力の育成を目指します。

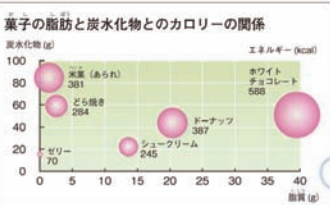
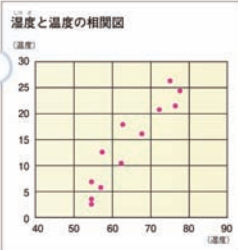
「事典編」

- 中学三年間をとおして、学んだことを整理したり、振り返りすることが出来ます。

関係性を表現する

データとデータとの関係性を一時的に示します。

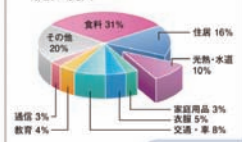
散布図



バブルチャート

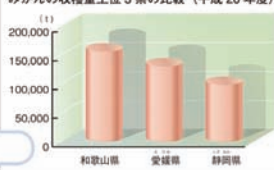
表現力を高めたいときは

家計の支出

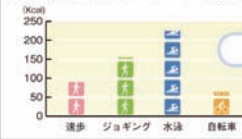


立体化する

みかんの収穫量上位3県の比較 (平成20年度)



30分間運動したときのエネルギー消費量



絵グラフにする

表とグラフによる効果 86

学習用語事典

学習用語事典 学びをひらくキーワード 24

- 1 表題 (台名等) 署名・題名**
表題は、文の内容を簡明に示す。読み手の理解を助ける。関心を喚起するものだけを考える。題名は、読者の関心を惹き起こす。題名は、読者の関心を惹き起こす。題名は、読者の関心を惹き起こす。
- 2 事実と意見**
事実は、自然現象や人間関係など、客観的に観察できる事実のこと。意見は、主観的に判断される事実のこと。
- 3 フォーカシング**
事実は、自然現象や人間関係など、客観的に観察できる事実のこと。意見は、主観的に判断される事実のこと。
- 4 エピソード**
物事や出来事など、具体的な事例のこと。
- 5 伏線**
物語や小説など、物語の展開を暗示するもの。
- 6 テーマ**
物語や小説など、物語の中心となるもの。

伝統的な言語文化を大切に

味わう「古典」

領域との関連学習

●学習指導要領を受けて、古典と生徒の日常生活・言語生活とを結びつけるために、領域関連の教材を配しました。生き方を考えて「読むこと」や引用して「書くこと」で言語能力を高め、考える力を伸ばします。

例 三年本編「好きな和歌を紹介しよう」

学習目標には「自分の表現に役立てる」ことを位置づけ、古典学習を生活と結びつけました。

好きな和歌を紹介しよう

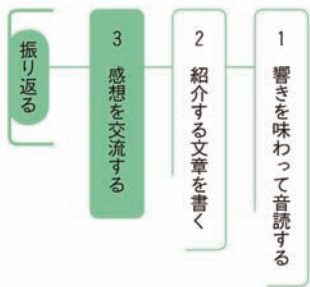


課題をもって書くこと

●書いた文章を交流し、自分の表現に役立てる。

確 226

『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』に集められた和歌は、日本人の心の優れた表現です。それぞれの和歌の特徴を捉えながら音読し、リズムや言葉の響きを味わいましょう。そして、好きな作品を選び、情景や作者の心情を詳しく思い描きながら、その作品を紹介する文章を書きましょう。書いた文章は友達どうして読み合い、感想を交流しましょう。



領域と関連させた古典学習

- 一年 「故事成語」を使って書くこと「書くこと」領域
- 二年 「平家物語」(「読むこと」領域)
- 三年 「好きな和歌を紹介しよう」(「書くこと」領域)

古典

1 響きを味わって音読する

万葉集

君待つと吾が恋ひをれば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く

額田王

君待つと、あなたがいらっしゃるのを待って、恋ひをれば、恋しく思っておりますと。

近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしのに

あしひきの山のしづくに妹待つと我立ち遷

我を待つと君が濡れけむあしひきの山の

銀も金も玉も何せむにまされる宝子にし

2 紹介する文章を書く

紹介したい作品について、次のことをノートにまとめておきましょう。

- ア その歌によまれている情景や作者の心情。
- イ その歌の、どんなところが気に入ったか。
- ウ 引用して紹介したい表現と、それをどのように紹介するか。

ノートを見ながら、まとめたものの順序を考え、清書しましょう。

銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも

山上憶良

- ア 子どもが何よりも大切だという作者の心情。
- イ 子どもが大切だということを力強い表現で歌っているところ。
- ウ 「銀も金も玉も何せむに」というところが特に力強く感じた。また、「しかめやも」と終わっているのも力強い。

(※ 銀・金・山 上 憶良)

3 感想を交流する

できあがった文章を読み合い、感想を交流しましょう。友達の文章の中から次のような点を見つけて、ノートにメモしておきましょう。

- 文章の展開の仕方や表現の仕方などで、優れていると感じられたり、自分の表現に役立てたいと思った点。
- 歌の内容を上手に捉えていると感じた点。
- 興味深い見方や考え方をしていると感じた点。

振り返る

- この学習を通して考えたことや身についたことを、次の点にそって振り返り、書いてまとめておこう。
- 交流したことを、自分の表現に役立てられたか。

広 89 99

書くこと

具体的な文章例も示し、より取り組みやすくなるようにしています。

「読むこと」教材一覧

—「本編」—

現代的な課題を取りあげ、論理的な思考力を育てる説明文教材、豊かな感性と、命の価値を考える文学教材をバランスよく揃えました。

1年

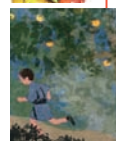
説明文教材



- NEW** 水田のしくみを探る（岡崎稔）
ユニバーサルな心を目指して
（三宮麻由子）
この小さな地球の上で（手塚治虫）
- NEW** 信頼をつなぐ（小関智弘）
食感のオノマトペ（早川文代）

1年

文学教材



- 空中ブランコ乗りのキキ（別役実）
- NEW** 詩三編：夕焼け（工藤直子）
いるか（谷川俊太郎）
雨二モマケズ（宮沢賢治）
- NEW** タオル（重松清）
トロッコ（芥川龍之介）

2年

説明文教材



- 壁に残された伝言（井上恭介）
- NEW** 日本人はアリスの同類だった
（高畑勲）
- NEW** 「循環型社会」とは何か（片谷教孝）
- NEW** 日本語メガネのかけ替え
（アーサー＝ピナード）

2年

文学教材



- 走れメロス（太宰治）
小さな手袋（内海隆一郎）
- NEW** 蒼いみち（小澤征良）
詩二編：大阿蘇（三好達治）
- NEW** わたしを東ねないで
（新川和江）

3年

説明文教材



- NEW** 冥王星が「準惑星」になったわけ
（渡部潤一）
- NEW** 「文殊の知恵」の時代（北川達夫）
- NEW** 海馬（池谷裕二・糸井重里）
「ありがとう」と言わない重さ
（呉人恵）

3年

文学教材



- 猫（トーベ＝ヤンソン〔訳〕渡部翠）
- NEW** 高瀬舟（森鷗外）
詩二編：初恋（島崎藤村）
- NEW** うち 知ってんねん
（島田陽子）

カラーユニバーサルデザイン

人間の色覚(色の感じ方)は二通りではありません。教科書に示す情報(解説・指示・設問など)は、生徒の色覚の違いによって有利不利の差が出ないように配慮されなければなりません。平成24年度では、次の点に配慮し編集しています。

- 識別しにくい配色は避け、
また形や記号・番号(活動内容併記)、
説明文(色名併記)などの
補助的な手がかりを設ける。
- 色だけが手がかりとなる
問いは設けない。
- 色の濃淡や野線などの工夫を凝らす。

だれもが使いやすい 教科書づくりをめざして

拡大教科書の作成

弱視の生徒たちの学習上の負担を減らすために、文字の大きさや書体、絵・写真などに配慮した、よりよい拡大教科書を作成します。

環境にやさしい紙と 植物油インキの使用

環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。また食用の大豆からつくられる油のほか、非食用とされる植物由来の植物油、及びそれらを主体とする廃食用油をリサイクルした再生油を包含した、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。



サポート・ネットワーク・プログラム(SNP)

私たちは、教科書を中心としながら、さまざまな「学びのサポート・プログラム」を提案します。
『中学生の国語』『中学生の国語 学びを広げる』に加えて、
このSNPが教科書の一部として機能します。

- 学習指導書
- 朱書編
- 学習指導事例集
- 読書の森へCD
- 朗読CD ほか

生徒用教材

辞書

- 教科書準拠
デジタル教材
- 指導資料DVD

学習指導書

指導用教材



- 教科書
Webガイダンス
- ショートムービー
 - デジタル版教科書内容解説資料
ほか

国語教育
セミナー

Webサイト

<http://tb.sanseido.co.jp/24/>

サポート書籍

国語教育情報誌
『ことばの学び』

みどころマップ

- 1 画像資料**
筆者や教材に関連する写真やイラストを見ることができます。
- 2 動画資料**
「話すこと・聞くこと」の活動例や、古典教材の動画資料が用意されています。
- 3 辞典資料**
国語辞典や漢字辞典など、様々な辞典から語彙の説明を引き出した資料です。
- 4 漢字の解答提示**
漢字学習の解答を提示することができます。
- 5 筆順アニメーション
(新常用漢字対応)**
漢字の筆順や部首をアニメーションで見ることができます。



『中学生の国語』 指導用デジタルテキスト

平成24年度用体験版

● 『中学生の国語』編集委員

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 長谷川孝士
中洲正堯
尾木和英
三浦和尙
北川達夫
堀田龍也
足立幸子
安部朋世
飯田明也
伊坂淳一
井関義久
糸井通浩
沖山吉和
河野順子
岸本憲良
吉川芳則
菅原宏之
佐藤佐敏
篠田信司
白井達夫
高橋俊三
田中耕治
田中智生
寺田万智
長崎伸仁
中村敦雄
西岡加名恵
花田修一
アーサー・ヒナード
詩人 | 日高辰人
前田智子
牧戸章
町田守弘
松友雄
三浦修治
宮本浩治
村井万里子
村上呂里
吉田和夫
ほか一名 | 兵庫教育大学名誉教授
兵庫教育大学名誉教授
東京女子体育大学名誉教授
愛媛大学
日本教育大学院大学
玉川大学
新潟大学
千葉大学
筑波大学附属中学校
千葉大学
桜美林大学名誉教授
京都教育大学名誉教授
玉川大学
熊本大学
福岡教育大学
山口大学
兵庫教育大学
早稲田大学
上越教育大学
鎌倉女子大学
I-LC言語教育文化研究所
前群馬大学
京都大学
岡山大学
歌人
京都教育大学
創価大学
群馬大学
京都大学
日本教育大学院大学 | 長谷川孝士
中洲正堯
尾木和英
三浦和尙
北川達夫
堀田龍也
足立幸子
安部朋世
飯田明也
伊坂淳一
井関義久
糸井通浩
沖山吉和
河野順子
岸本憲良
吉川芳則
菅原宏之
佐藤佐敏
篠田信司
白井達夫
高橋俊三
田中耕治
田中智生
寺田万智
長崎伸仁
中村敦雄
西岡加名恵
花田修一
アーサー・ヒナード
詩人
日高辰人
前田智子
牧戸章
町田守弘
松友雄
三浦修治
宮本浩治
村井万里子
村上呂里
吉田和夫
ほか一名
兵庫教育大学名誉教授
兵庫教育大学名誉教授
東京女子体育大学名誉教授
愛媛大学
日本教育大学院大学
玉川大学
新潟大学
千葉大学
筑波大学附属中学校
千葉大学
桜美林大学名誉教授
京都教育大学名誉教授
玉川大学
熊本大学
福岡教育大学
山口大学
兵庫教育大学
早稲田大学
上越教育大学
鎌倉女子大学
I-LC言語教育文化研究所
前群馬大学
京都大学
岡山大学
歌人
京都教育大学
創価大学
群馬大学
京都大学
日本教育大学院大学 |
|---|---|---|---|



株式会社 三省堂

- 本社 〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 ☎03-3230-9411 (編集)・9551 (営業)
- 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06-6341-2177
- 名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル4F ☎052-252-9211・9212
- 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092-531-1531・1532
- 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011-616-8722

平成24年度版中学校教科書Webサイト <http://tb.sanseido.co.jp/24/>



三省堂